

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	長野県西駒ヶ根支援事業部わーく西駒
住所	駒ヶ根市下平2901-13
電話番号	0265-82-5271

事業所番号	2011000110
管理者名	尾野 成彦
対象年度	令和 5 年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が 7 時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が 6 時間以上 7 時間未満		
③1日の平均労働時間が 5 時間以上 6 時間未満	○	
④1日の平均労働時間が 4 時間30分以上 5 時間未満		
⑤1日の平均労働時間が 4 時間以上 4 時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が 3 時間以上 4 時間未満		
⑦1日の平均労働時間が 2 時間以上 3 時間未満		
⑧1日の平均労働時間が 2 時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(IV) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が 1 人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1 回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いざれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1 回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポートの配置		
ピアサポートを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている		
小計 (注2)	5	点

(※) 8 項目の合計点に応じた点数 (注2) 5 以上: 15 点、4~3: 5 点、2 点以下: 0 点

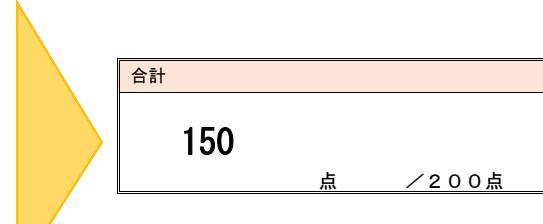
(II) 生産活動		
①過去 3 年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	60 点
②過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
③過去 3 年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
④過去 3 年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
⑤過去 3 年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去 3 年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1 事例以上ある場合: 10 点		
(VI) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合: -50 点		
(VII) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	0 点
1 事例以上ある場合: 10 点		

(※) 8 項目の合計点に応じた点数

(注1) 5 以上: 15 点、4~3: 5 点、2 点以下: 0 点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点



就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績I～IV、VI）

(I) 労働時間					
前年度（令和5年度）		雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間		13,207	時間
		雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,499	人	
		利用者の1日の平均労働時間数	5	時間	
(II) 生産活動					
会計期間（4月～3月）		利用者に支払った賃金総額		11,256,254	円
前々年度（令和3年度）		収支	0	円	
生産活動収入から経費を除いた額		円			
前々年度（令和4年度）		利用者に支払った賃金総額	12,721,127	円	
生産活動収入から経費を除いた額		円	収支	0	円
前年度（令和5年度）		利用者に支払った賃金総額	12,730,348	円	
生産活動収入から経費を除いた額		円	収支	0	円
(III) 多様な働き方					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度			②利用者を職員として登用する制度		
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている			◎利用者を職員として登用する制度を定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			④フレックスタイム制に係る労働条件		
◎在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている			◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件			⑥時差出勤制度に係る労働条件		
◎短時間勤務に係る労働条件を定めている			◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている			◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている		
(IV) 支援力向上					
前年度（令和5年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			②研修、学会等又は学会誌等において発表		
◎研修計画を策定している			◎研修、学会等又は学会誌等において発表		
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。			1回以上発表している		
※研修名 障がい者虐待防止法の理解と障がい者の権利擁護 研修講師 虐待防止推進委員 丸田佑香 実施日・受講者数 12月 15日 他 116人			※研修名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ		
③視察・実習の実施又は受け入れ			④販路拡大の商談会等への参加		
◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている			◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。		
※商談会等名 障がい者優先調達に係る情報交換会 主催者名 長野県健康福祉部、セルフセンター協議会 日時 令和5年 9月 20日 内容 障がい者優先調達の取り組みについての説明 情報交換会			※商談会等名 実施日 月 日～月 日 主催者名 日時 内容		
⑤職員の人事評価制度			⑥ピアソポーターの配置		
◎職員の人事評価制度を整備している			◎ピアソポーターを配置している		
◎当該人事評価制度を周知している			◎当該ピアソポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している		
人事評価制度の制定日 平成21年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 159名 うち昇給・昇格を行った者 61名 当該人事評価制度の周知方法 文章配布			※配置期間 月 日～月 日 就業時間 職務内容		
⑦第三者評価			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
◎前年度末日から過去3年内に 福祉サービス第三者評価を受けている			◎ISOが制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている		
※評価を受けた日 令和4年1月13日 第三者評価機関 (有)エフワイエル			※認証を受けた日 月 日 規格等の内容		
(VI) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、 経営改善計画書へ提出した。					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	長野県西駒郷駒ヶ根支援事業部わーく西駒
住 所	駒ヶ根市下平2901-13
電話番号	0265-82-5271

事業所番号	2011000110
管理者名	尾野 成彦
対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

- ・移動販売車にて週3日替わりで駒ヶ根市内の各地区にて移動販売を展開している。
- ・信州まめ匠の製品である地元信州産大豆を100%使用した豆腐やどら焼き、焼き菓子の他にカップ麺や日用品の販売も行うことで、買い物弱者への支援、独居者の安否確認を行っている。

<活動の様子>

- ・駒ヶ根市地域見守りネットワークに参加。平成29年より、駒ヶ根市と地域見守り活動に関する協定を結び、信州まめ匠の移動販売にて市内中山間地への移動販売をしながら市内の見守り活動の一環としている。
- ・この事業を通じて、地域や関係機関との連携を図り、地域からの安心や信頼を得ることも目指している。



<目的>

- ・市内循環バスが廃止となったことをきっかけに地域貢献の一環として、中山間地に住んでいる買い物弱者とされる方々への支援及び障がい者理解につなげていくことを目的として活動している。

<成果>

- ・移動販売を通じまめ匠の商品を楽しみに待って下さる方ができ、時には家にあげてお茶を出して下さる方もいる。
- ・若い世帯だと日中時間帯に不在のうえ自力で買い物に行けるため利用率が低く、結果として固定客に繋がらず、売上の維持が困難になってきている。



連携先の企業等の意見または評価

- ・移動販売のみを目的とするのではなく、地域の見守り活動を兼ねて行うことで地域からの信頼も増している様子である。
- ・中山間地の過疎化が上記活動へも影響する可能性がある。

連携先企業名	駒ヶ根市	担当者名	地域保健課
--------	------	------	-------